東京都立福生高等学校

令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 美術Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅰ　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：	高校美術/日本文教出版

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや、表現の意図と創意工夫などについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 1 デッサン①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	鉛筆や紙の特性を理解できる。	オリエンテーション、角砂糖（立方体）					描画材（鉛筆など）を適切に扱うことができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	輪郭線を適切に扱える。	ワークシート					線を用いずに輪郭を表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	ものの見方を意識できる。	鑑賞					活動の目的を意識して取り組むことができたか。				
	単元 2 デッサン②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	ハイライト、陰、影、反射光を理解できる。	卵（球）、果物の形を描く					明暗を適切に扱うことができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	豊かな諧調を表現できる。	作品					複数の調子を使い分け、適切に表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	ものの見方を深めることができる。						活動に意欲をもって取り組むことができたか。				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説										
	単元 3 オリジナル商品広告制作	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	アプリを操作し、画像の編集を行うことができる。	Adobe Expressの特性、練習、本制作					課題を適切に制作し、提出できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	色や形、配置やフォントなどを適切に扱える。	ワークシート					色や形、配置やフォントなどを使い分け、適切に表現できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	デザインの面白さに気付くことができる。	画像作成アプリ					作品のよさにこだわりをもって制作できたか。				
	単元 4 油彩グリザイユ静物①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	油絵の具の特性を理解できる。	下地つくり、おつゆ描き					描画材（油絵具）を適切に扱うことができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	道具や材料を適切に扱える。	作品					道具や机をきれいに扱うことができたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	描画材の魅力を味わうことができる。	鑑賞					油絵の具の良さに気付くことができたか。				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説										

東京都立福生高等学校

令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 美術Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅰ　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：	高校美術/日本文教出版

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや、表現の意図と創意工夫などについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元 5 油彩グリザイユ静物②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	グリザイユ表現を理解できる。	下塗り、固有色について					明暗やグラデーションを適切に扱うことができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	混色方法を工夫できる。	作品					新しい混色の仕方を取り入れることができたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	混色の面白さを味わうことができる。						調子の美しさに気付くことができたか。				
	単元 6 油彩グリザイユ静物③	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	視覚以外の情報に目を向けることができる。	質感について、中間講評・相互鑑賞					様々な情報を観察できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	絵の具の扱い方を工夫できる。	作品					質感に応じて絵の具のつけ方を工夫できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	新しい表現を意識できる。	鑑賞					表現に工夫がみられたか。				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説										
	単元 7 油彩グリザイユ静物④	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	鑑賞者の視点で作品をみることができる。	絵作り、仕上げ（裏書き、サインなど）					作品の見せ場を意識できたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	複数の視点で作品を見ることができる。	作品					作品の見せ場が引き立つように画面を整理できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	自身の個性を発見できる。						自身の作品の良さに気付くことができたか。				
	単元 8 色のしくみ、顔のプロポーション	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	色の三要素や顔のプロポーションを理解できる。	混色実験ワーク、顔表現の追究					ワークの目的を理解し、適切に取り組むことができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	色を工夫して扱える。	ワークシート					様々な色の組み合わせで混色に挑戦できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	色に親しみを持つことができる。	調べ学習					日常生活と色のつながりを考えることができたか。				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説										

令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 美術Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅰ　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：	高校美術/日本文教出版

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや、表現の意図と創意工夫などについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元 9　油彩自画像①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	ポーズや構図のルールを理解できる。	木炭、下塗り					モチーフを画面に適切に収めることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	構図を意識し、適切に形をとらえることができる。	作品					構図の特性を生かして画面を構成できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	モチーフの面白さを味わうことができる。						顔の造形的な面白さを追究できたか。				
	単元 10　油彩自画像②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	様々な色彩の扱い方があること知る。	描き込み					様々な色の絵の具を扱うことができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	感覚を働かせて、色彩の扱い方を工夫できる。	作品					色彩を工夫して扱うことができたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	新しい表現に挑戦できる。	鑑賞					表現に工夫や挑戦がみられたか。				
	単元 11　油彩自画像③	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	絵画表現の可能性について知る。	絵作り、仕上げ（裏書き、サインなど）					様々な表現を取り入れることができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	複数の視点で作品について思考できる。	作品					絵画表現の面白さについて思考できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	自身や他者の個性の良さを認めることができる。						自身や他者の作品の良さを認めることができたか。				
	単元 12　紙で構造物をつくって競うゲーム	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。				4
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
	アイデアの出し方を理解できる。	アイデアだし、ブレーンストーミング					ワークに取組みながらアイデアを出すことができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
	協働ともものつくりの関係を結び付けて考え、行動することができる。	ワークシート					ワークの目的を意識して活動できたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】				
	協働の楽しさや魅力を味わうことができる。						ペアでブレインストーミングや試作に取り組むことができたか。				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説										